アンカリングの数値の効果をみる実験

近藤雄太、高橋大樹、谷部翼

アンカリング効果

提示されたある特定の数値や情報が印象に残ることで基準点となり、判断に影響を与える効果のこと。
私たちの推量は直前に見聞きした無関係な数字に強く影響を受けるなど、あまりあてにならないものだという。

先行実験

参加者に国連に加盟している全ての国の中アフリカ諸国が占める割合を二回にわたって推定する。
最初の推定で、参加者は、１～１００の数値が書かれたルーレットを回す。
その出目と国連加盟国に占めるアフリカ諸国の実際の割合のどちらが大きいかを、大か小で答えた。
ただし、実際には、ルーレットの出目は１０か６５のどちらかが出るように仕組まれている。
参加者は出目の大小判断の答えが正しいか間違っているかに関わらず、実際の割合を直接数値で推定した。

先行実験の結果

最初の推定でルーレットの値が小さな数（１０）であったグループは、二回目の推定で小さな数を報告し、ルーレットの値が大きな数（６５）であったグループは、二回目の推定で大きなを数を報告した。
参加者はルーレットの出目に細工が施されていたことを知らされていなかったので、この結果は、直前に見せられた、全く無関係で偶然の数値が推量に強く影響を及ぼしたことを示している。

実際に行った実験

三つのアイテム（リング・香水・ネックレス）を用意し、各アイテムの相場が１００００円だと仮定し、それを被験者に伝えて実験を行う。事前に紙に書いて用意した数字（１０）と（１０,０００)を被験者に引いてもらい、そのアイテムの価格がいくらか聞く。
紙を引いてもらう際には仕組んで、高い数字と低い数字を引く割合を半々になるように調整した。

ネックレスの考察

低い数字の紙を引き 10000 円以下と回答した人の割合は 70%
高い数字の紙を引き 10000 円以上と回答した人の割合は 90%だった
低い数字を引いた人の金額の平均は 10,330 円だった
高い数字を引いた人の金額の平均は 25,200 円だった

香水の考察

低い数字の紙を引き１００００円以下と回答した人の割合は８０％
高い数字の紙を引き１００００円以上と回答した人の割合は８０％
低い数字を引いた人の金額の平均は７４００円だった
高い数字を引いた人の金額の平均は１４７８０円だった

リングの考察

低い数字の紙を引き１００００円以下と回答した人の割合は８０％
高い数字の紙を引き１００００円以上と回答した人の割合は５０％
低い数字を引いた人の金額の平均は９０３０円だった
高い数字を引いた人の金額の平均は１２４９０円だった

実験の考察

最初に引いた数字が小さいほうが後から答える数字も低くなる傾向があった。
高い数字も同じようにあとから答える数字が高くなった。
また事前に相場として伝えていた１００００円に近い回答が多かったことからもアンカリング効果が出ていたと考えられる。